

各 位

「本山寺・神峯山寺の森林（もり）保全協議会」設立について

本山寺のモミ・ツガ・アカガシ林は、大阪府下で唯一まとまった暖温帯の植生を有する森林です。その希少性・学術的価値から、昭和53(1978)年1月20日、「大阪府自然環境保全条例」により、大阪府自然環境保全地域の特別地域(14.32ha)に指定されました。

さらに、同寺・神峯山寺地域は、「本山寺国有林」、「母樹林」、「銃猟禁止区域」及び大阪府立自然公園に指定されるなど、モミツガ林だけでなく幾重にも公的保護の対象とされた府内における重要な自然環境保全地域です。

しかし、近年、モミツガ林だけでなく一帯の林床植生の消失が急速に進んでおり、次世代を担う稚樹の消失や一部崩落の発生など森林の更新が危ぶまれています。その大きな原因が、生息数が高密度となったシカの採食圧によるものと考えられています。

シカの採食圧による植生劣化については、全国各地で報告されており、当地においても、植生保護柵（防鹿柵）設置、シカ密度の調整等早急な対策を講じることが必要だと考えています。府自然環境保全条例の目的にもあるとおり、私たちは、森林がもたらす生態系サービスを次世代に引き継ぐ責務があります。

以上のことから、私たちは、本山寺・神峯山の森林を取り巻く事態を憂慮し、本日、「本山寺・神峯山寺の森林保全協議会」を設立いたします。

今後、私たちは、同地域における野生動物保護管理と植生回復の方策を検討するため、専門の知見を有する学識者をアドバイザーとして、「本山寺・神峯山地域の健全な森林環境の保全」を目的として、同地域の現況を明らかにするべく各種調査を自主的に実施する所存です。

皆さまには、この状況を報告するとともに、協議会設立にご賛同いただき、早急な対策に向けた情報収集など本会活動へのご協力、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご協力、ご参加いただける場合には、下記までご連絡願います。

「本山寺・神峯山の森林保全協議会」事務局  
社団法人 大阪自然環境保全協会  
「本山寺・神峯山の森林保全協議会」係  
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13、202  
TEL. 06-6242-8720/FAX. 06-6881-8103  
E-mail: NOB@nature.or.jp (担当: 常俊)

本会発起人

(順不動)

- ◆ 代表発起人 本山寺住職 百済 寂仁
- ◆ TKK 代表 田口 圭介
- ◆ NPO法人 森林再生支援センター 理事長 村田 源
- ◆ 社団法人 大阪自然環境保全協会 会長 高田 直俊

※ アドバイザー

大阪市立自然史博物館 佐久間 大輔  
京都大学農学部森林生物学分野講師 高柳 敦  
奈良教育大学植物生態学研究室教授 松井 淳